

外傷学総論		講義	教授 千明 政好
科目カテゴリー	救急救命士コースの専門分野科目	科目ナンバリング	13371301

1. 授業のねらい・概要

外傷学について解剖・生理から臨床現場での処置まで、救急救命士に求められる現場での確認項目を随所に理解していくことを目的とする。

救命することができる外傷死を減らすための観察・処置判断について解説し、搬送先の選定を具体的に実施できるような外傷学の知識を身につける。

2. 授業の進め方

学生には参加型授業を提案し双方向的な授業を実現できるようにする。前週に実施した授業を確実に理解することとする。また、理解を深めるよう画像・動画も使用した説明を行うとともに、学生自ら習得した知識を活用したアクティブラーニングによる授業展開を行う。

3. 授業計画

回	授業内容	授業形態	担当
1	外傷学総論①外傷疫学外傷の定義と分類、防ぎえた外傷死PTD	講義	千明政好
2	外傷学総論②受傷機転	講義	千明
3	現場活動①現場活動の流れ、ロードアンドゴーと状況評価	講義	千明
4	現場活動②状況評価、初期評価	講義	千明
5	現場活動③全身観察、重点観察	講義	千明
6	現場活動④状況評価～全身観察までの復習と確認試験	講義	千明
7	現場活動⑤緊急度・重症度の判断・緊急処置	講義	千明
8	小試験1回目 および 現場活動⑥医療機関への連絡と搬送手段の選択	講義	千明
9	現場活動⑦全身固定要領	講義	千明
10	現場活動⑧詳細観察・継続観察	講義	千明
11	外傷活動で使用する資器材・ヘルメット除去	講義	千明
12	車内活動要領	講義	千明
13	車外救出要領	講義	千明
14	重症度評価～車外救出要領までの活動のまとめ	講義	千明
15	まとめ および小試験2回目	講義	千明

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

- 1) 予習（必要時間：約 60 分）
授業計画を参考に、該当授業箇所について予習すること。
- 2) 復習復習（必要時間：約 60 分）
テキストの授業該当箇所と配布資料などをもとに復習し理解を深めること。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

- ・筆記試験
小試験 2 回、期末試験 1 回、各試験実施直後に解答と解説を行う。
- ・課題
毎回授業の初めに 15 分程度の予習を課す。すべての項目を記入し提出すること。

6. 授業における学修の到達目標

- 1) 救急救命士に係る病院前外傷医療体制を理解できる。
- 2) 外傷死を減らすための救急救命士の観察・処置・判断を理解できる。
- 3) 頭部から足のつま先まで各部の外傷を解剖学的・生理学的な側面から理解できる。

7. 成績評価の方法・基準

1) 成績評価の方法

筆記試験 (100 %)

- イ) 小テスト 2 回 (50 %) ・ 期末試験 (50 %)
- ロ) 合計点数の 60%以上を合格とする。
- ハ) 再試験は実施しない。
- ニ) 受験資格として 3 分の 2 以上の出席かつ、全ての課題が提出されていること。

8. テキスト・参考文献

救急救命士標準テキスト編集委員会：改訂第10版 救急救命士標準テキスト（へるす出版）2020.

JPTEC協議会編著：改訂第2版補訂版 JPTEC ガイドブック（へるす出版）2022.

適宜指定する教材

9. 受講上の留意点

授業時間中はスマートフォン使用禁止，イヤホン使用禁止，帽子着用禁止とする。従わない場合は退室させ欠席扱いとする。授業中にもかかわらず学生同士の会話等がひどい場合は授業妨害と判断し退出させ欠席扱いとする。テキストは毎回の授業に必ず持参すること。また，参考文献は適宜紹介する

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当有無

該当する。本授業は，大学病院救命救急センターや集中治療室等における20年以上の実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。救急救命士コースの専門科目である。